

原野谷学園 新たな学園づくり保護者説明会

平成30年5月19日
掛川市教育委員会教育政策室

0 子どもたちの未来のために

1 中学校区学園化構想

2 小中一貫教育の推進

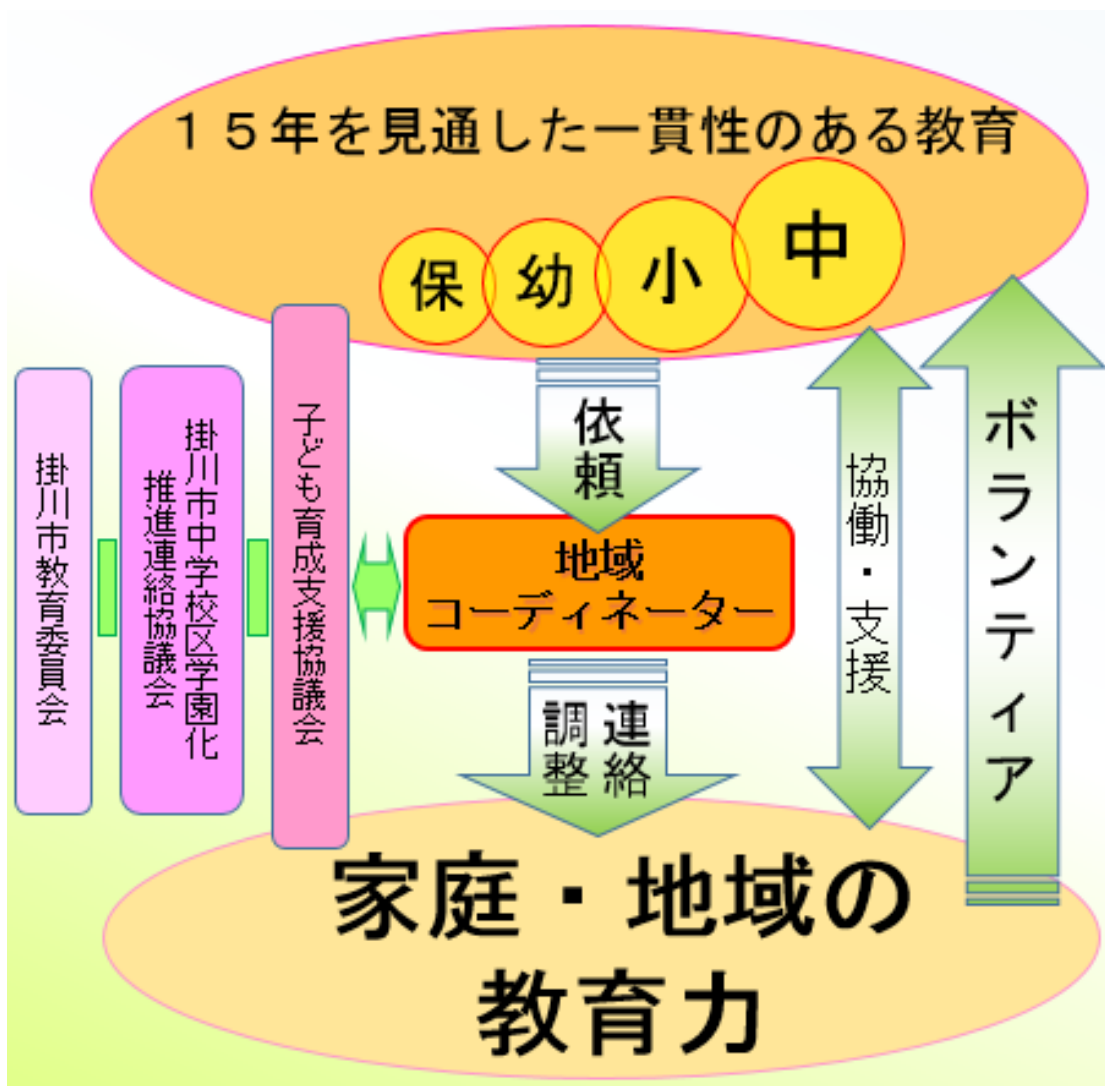
3 小中一貫教育を推進する
ための学校施設等について

子どもたちの未来のために



地域の教育力を園・学校に

中学校区学園化構想



①各中学校区の園、学校が連携をして、子どもの教育にあたる

②地域コーディネーターを中心とした園・学校ボランティアを活用した教育活動を展開

学校・家庭・地域が連携して子どもを育む教育を推進

中学校区学園化構想

「すごい！」

小中の交流を深める

学園内の小中学生と一緒に
学習・活動



小中の交流を深める

学園内の小学生と一緒に
学習・活動



中学校区学園化構想

中高の交流



幼中の交流



幼小の交流



中学校区学園化構想

「すごい！」

教職員の連携を深める

保幼小中連携して研修会



学校・家庭・地域の連携

地域の教育力を生かして



世の中の動き

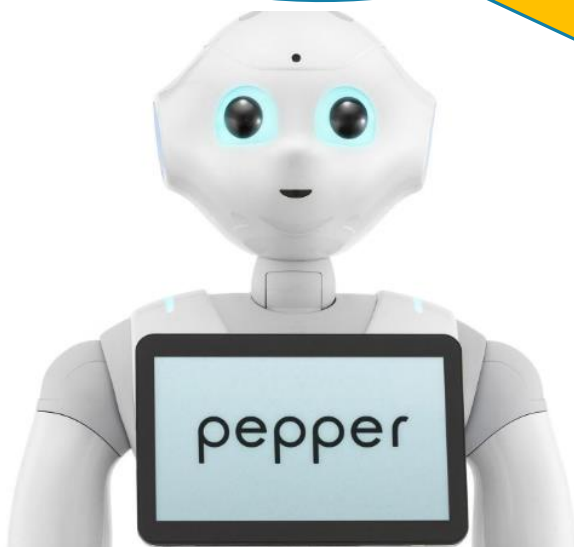
掛川の
子どもたちのために

ところが

世の中の動き

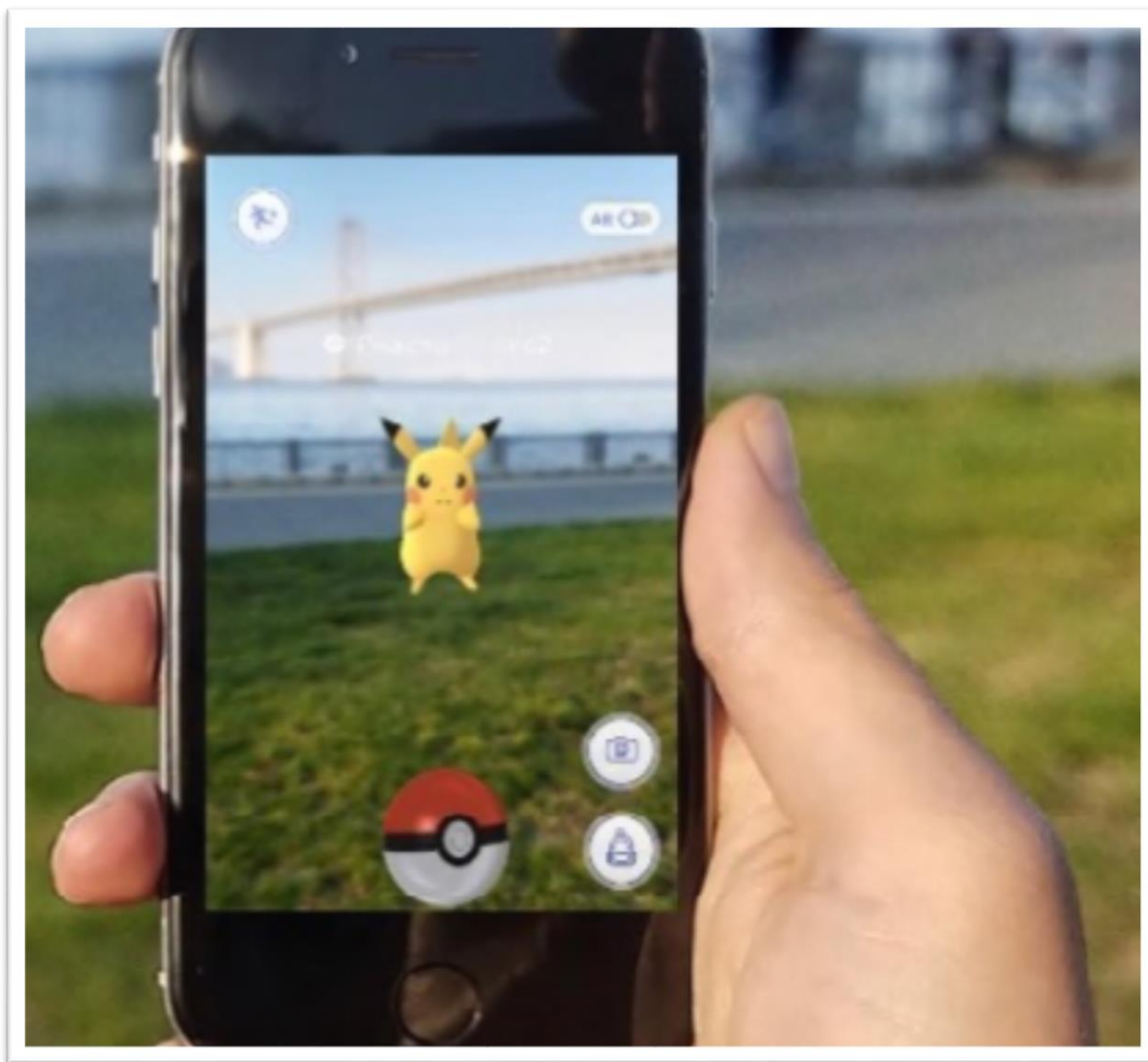
【情報化】

世界と
つながる



世の中の動き

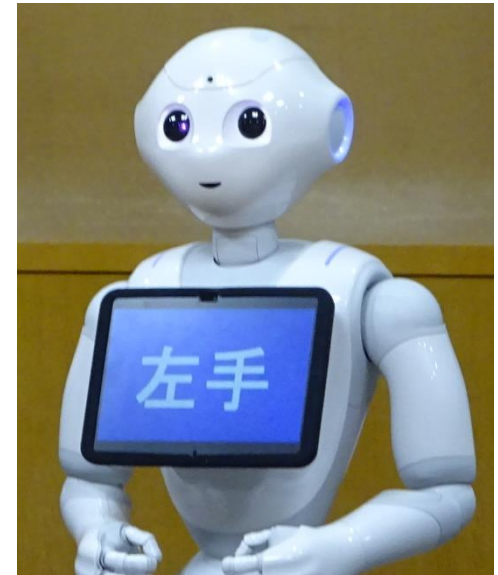
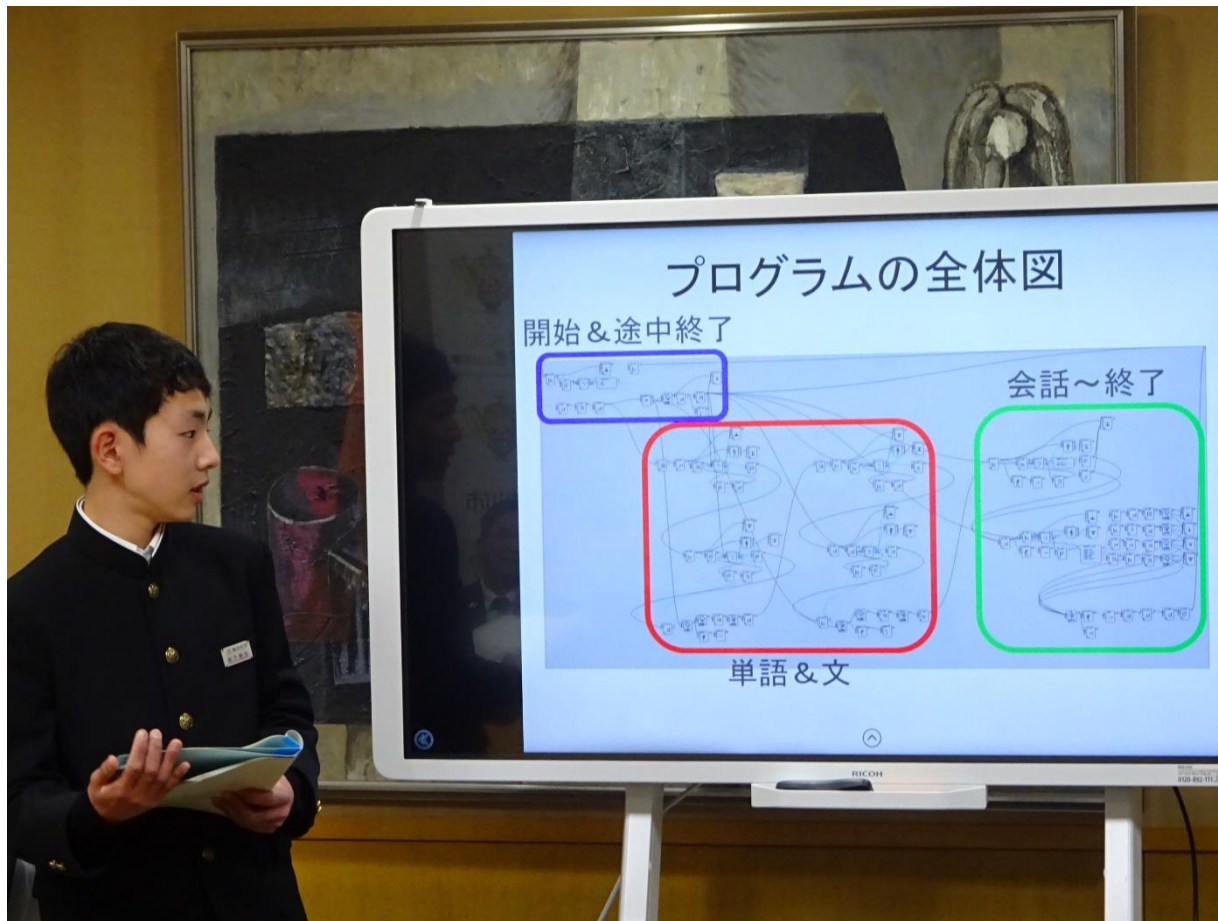
【情報化】



AI
ICT
VR
AR

世の中の動き 【情報化】

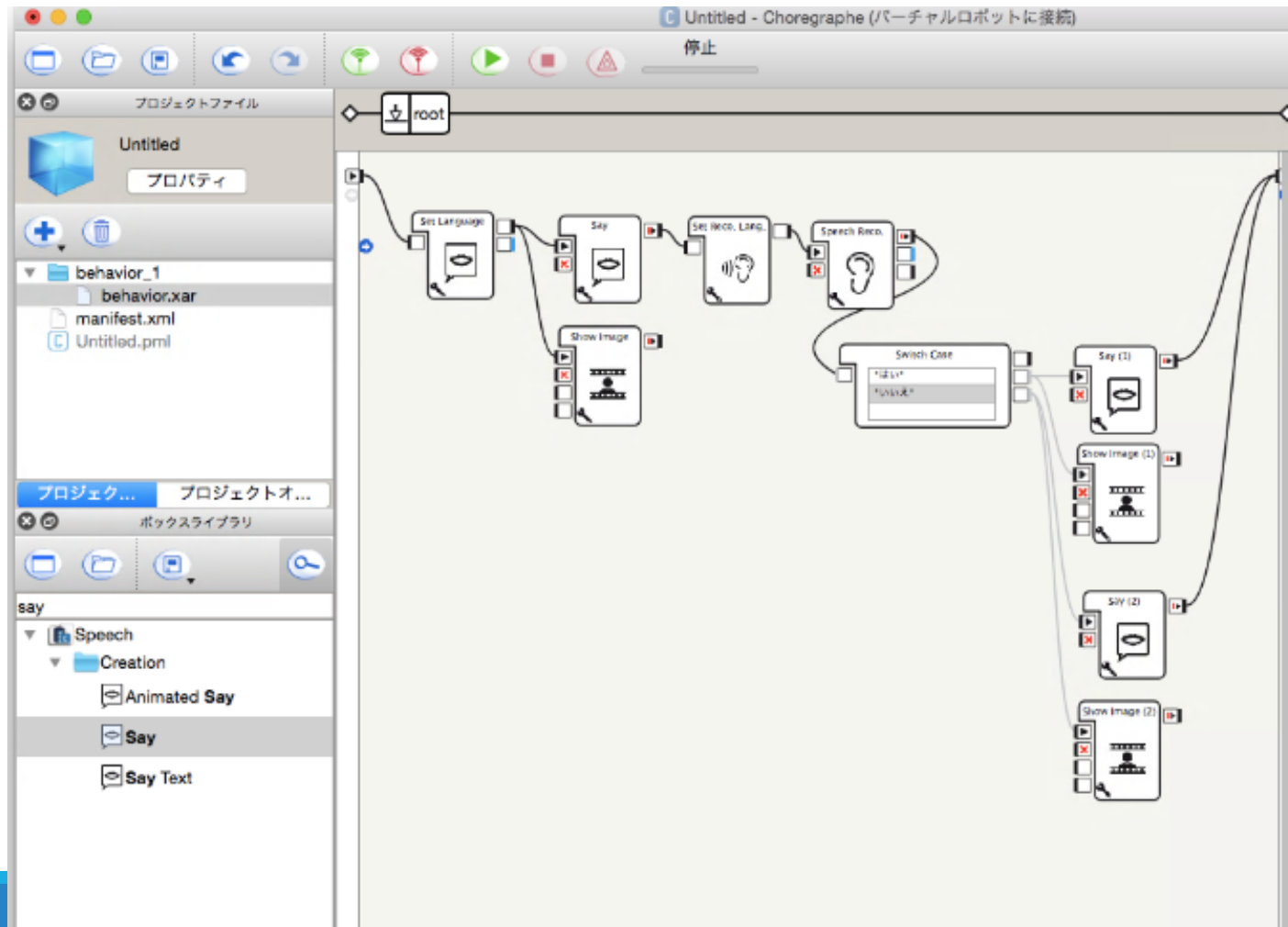
プログラミング教育



Pepper
プログラミング
コンテスト
全国大会出場報告

世の中の動き 【情報化】

プログラミング教育



家庭学習

1

2

3

4

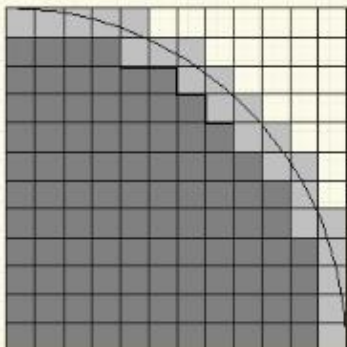
5

ドリルをやめる

 単元学習 ドリル 小学6年 算数
円の面積 円の面積の求め方 (1) 【ちょうせん挑戦】

問題 gd250115

次の図をもとに考えると、半径12cmの円は方眼およそ何個分になるか。
周にかかっている方眼はどれも半分として、正しい答えを下から選びなさい。



438

436

440

442

残り
5 問

前へ 次へ

全問判定

ヒント! 調べる

判定

世の中の動き

【情報化】

授業の変化



世の中の動き

【情報化】

授業の変化



録画や録音で、客観的に振り返りが可能に

子どもの様々な考えを簡単に比較・共有



<社会>

- ・情報化による世界とのつながり

自宅で英会話レッスン

- ・外国人数の増加
→昔と今の違い

世の中の動き 【国際化】

- ・ ラグビーW杯
- ・ 東京オリンピック…



世界が身近に
コミュニケーションは
英語

< 学校 >

・ 小学校外国語科 ・ 外国語活動

2020年(H32)次期学習指導要領 小学校

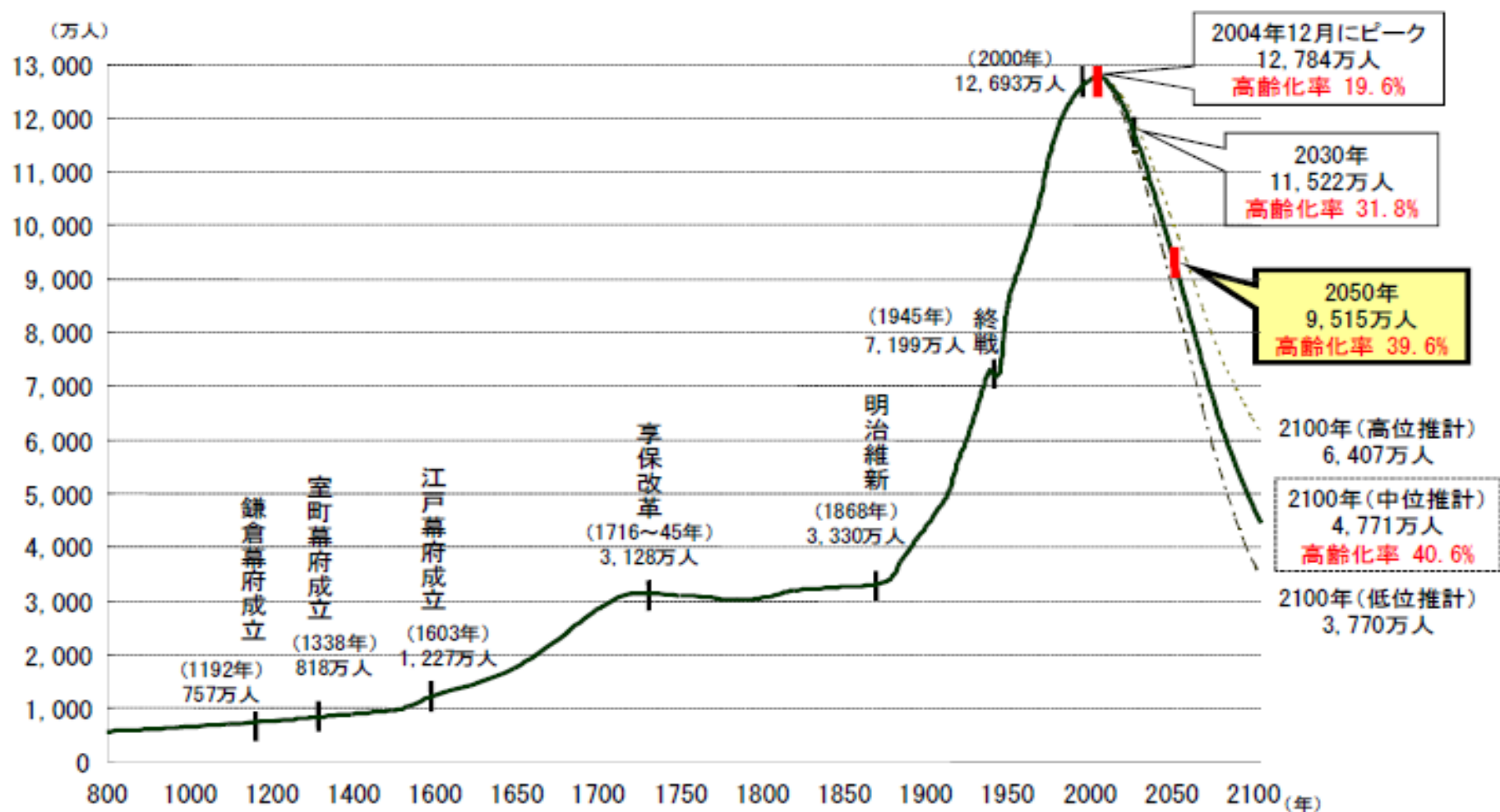
3・4年生… **0→35**時間 (週1時間)

5・6年生… **35→70**時間 (週2時間)

しかも...

人口問題

世の中の動き 【人口問題】



(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

世の中の動き 【少子化】

< 学校 >

○ 良い点

- ・ 個々への指導、支援が充実する
（目の行き届いた教育）
- ・ 教師と子ども、子ども間の人間
関係が密になる
- ・ 異学年のつながりが増える



< 学校 >

○問題点

- ・人間関係の固定化

➡暗黙の序列化

➡意欲の喪失

➡自然の競い合いや

切磋琢磨の機会の減少

➡活力やたくましさの低下



世の中の動き 【少子化】

< 学校 >

○問題点

- ・ 色々な人、様々な考え

➡ 社会性の育成



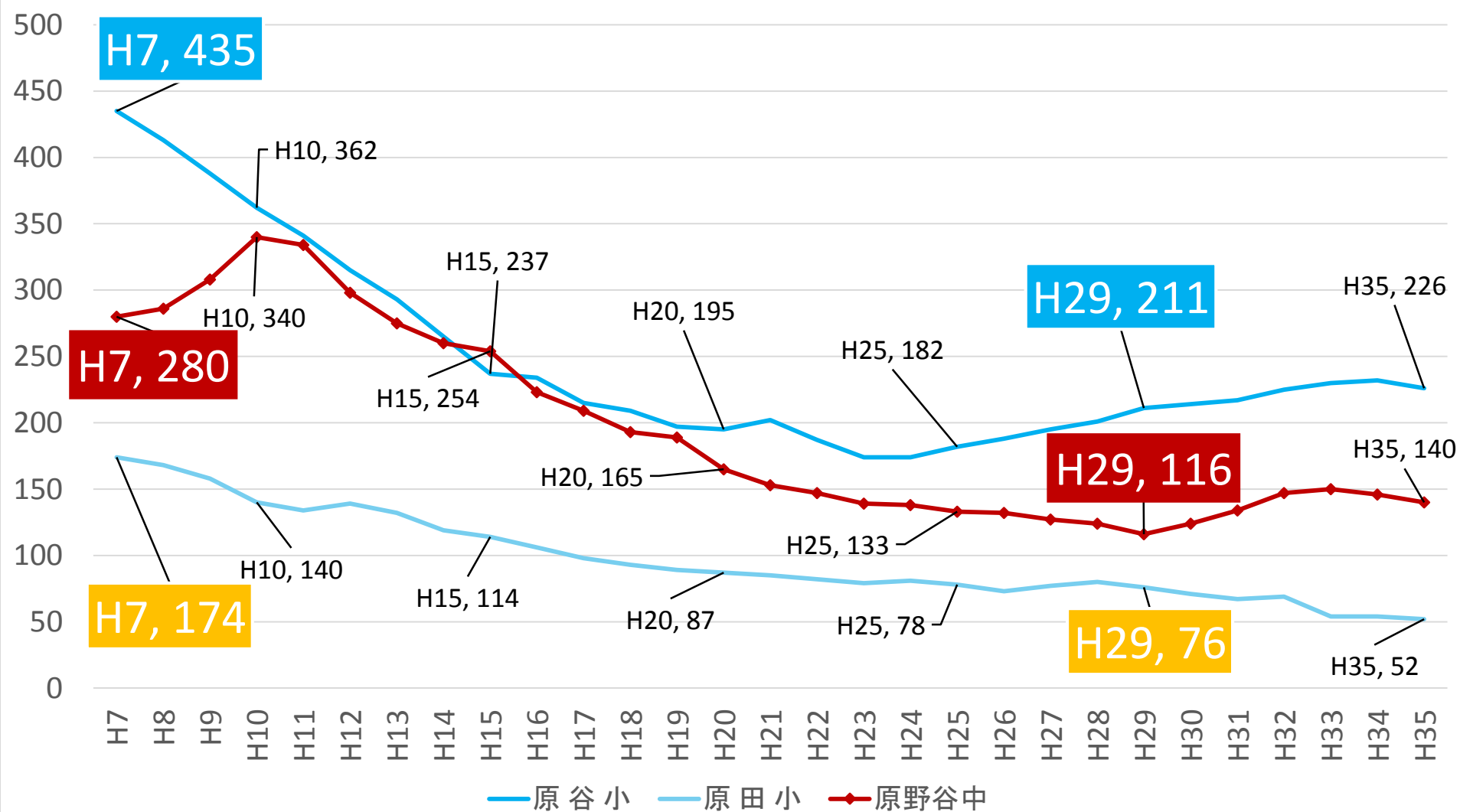
- ・ 単学級

➡ クラス替えが
できない



原野谷学園は？

原野谷学園 児童生徒数の推移(実数値による)



原野谷学園は？

1995年（平成7年）		22年後 の今	2017年（平成29年）		
学校名	人数		人数（人）	増減（人）	割合（％）
原谷小	435		211	－224	▲49
原田小	174		76	－98	▲44
原野谷中	280		116	－164	▲41

- 全ての学校の子どもの数が減少
- 小中学校共に減少率は40数％

このまま減り続けたら・・・

原野谷学園は？



● $y = -ax + b$

a : 22年間に-224人 ※毎年約10人ずつ減少

b : 211人



$$y = -10x + 211$$

● y が0になる時を計算すると、 $x=22$

このまま減り続けると、22年後に原谷小児童数は0になる。

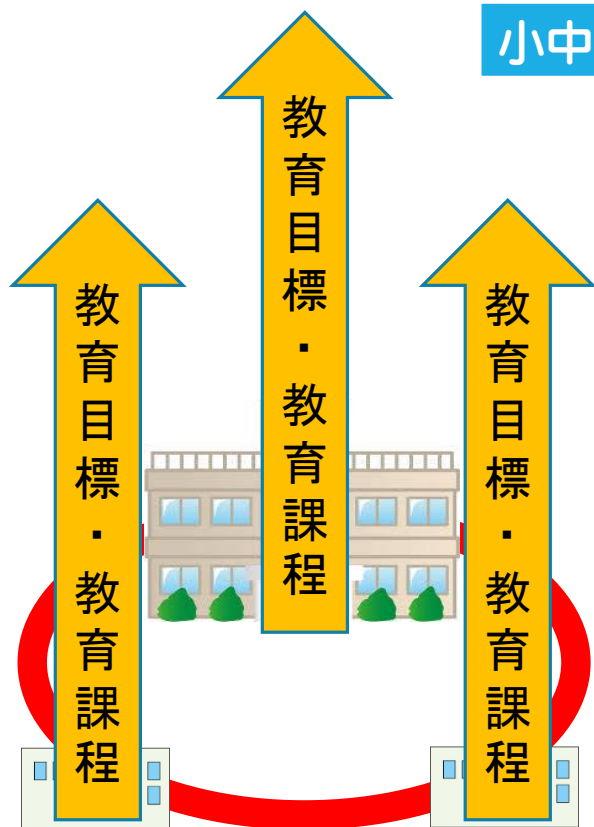
※原田小17年後、原野谷中16年後

まとめると…

- 社会変化に伴い、学校も変化
- 少子化、人口減少が問題
- 原野谷学園の学校 同じような減少傾向
- 数十年後のイメージ
 - ➡ 運動会…徒競走、紅白
 - ➡ 教員も少人数化 学校の維持管理
 - ➡ P T A、経済、地域 多面的な考察

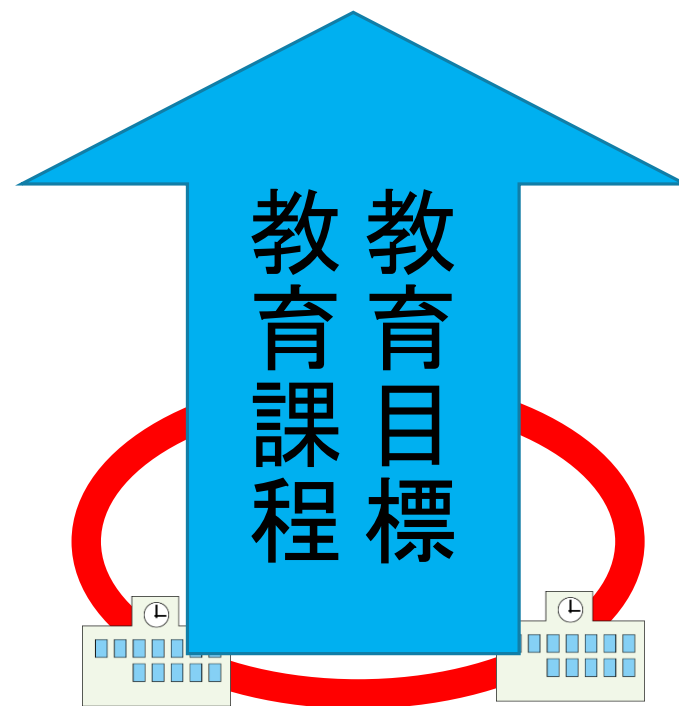
小中一貫教育の推進（学園化構想を生かして）

小中連携教育



小・中学校が、互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

小中一貫教育



小・中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的に行う教育

小中一貫教育の推進 （学園化構想を生かして）

「いいね！」

- ・ 学習指導 学習規律、学習習慣、学習意欲の向上等
- ・ 生徒指導 進学不安、中1ギャップの緩和等
- ・ 教職員 共通実践、相互の良さ、教員負担等

「施設形態」

- ・ 一体、隣接、分離

小中一貫教育の推進（学園化構想を生かして）

9年間を見通した指導

学習指導

- ・ 専門性を生かした指導
乗り入れ授業の充実
 - ➡教科担任制
 - ➡学ぶ意欲の向上
 - ➡英語教育やプログラミング教育等専門性を必要とする教育の充実
- ・ 小小交流、小中交流の充実



小中一貫教育の推進（学園化構想を生かして）

9年間を見通した指導

生徒指導

- ・ 校種を超えた教職員全体での子どもたちへの関わり
 - 多面的な指導、子どもたちとの信頼関係
 - 子どもの安心感



教職員

- ・ 教職員間の研修体制
 - 小学校と中学校のつながり → 一貫カリキュラム
 - 小学校間の教職員の研修体制強化
 - 単学級の学校 → 同学年での教材研究

小中一貫教育の推進

**小中一貫教育を推進する
ための学校施設等について**

小中一貫教育推進のための施設形態

●小中一貫教育の型や方法は、様々ある。

- 例
- ・ 一体、隣接、分離
 - ・ 6-3制、4-3-2制

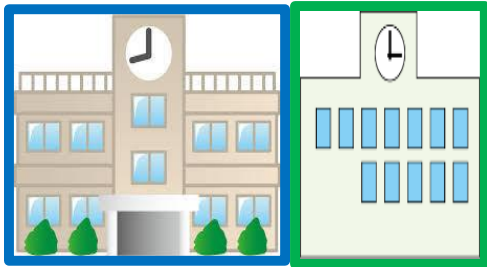


小中一貫教育推進のための施設形態



●施設一体型・同一の校舎内に小中学校の全学年（9学年）がある。

- ・組織、運営共に、一体的に一貫教育を行う。
- ・学校施設は新規に施設を建設、または既存の施設を改築する。



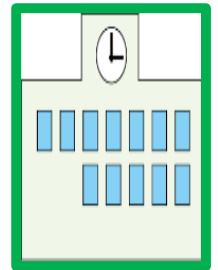
●施設隣接型

- ・隣接する小中学校で、教育目標、教育課程に一貫性を持たせる。
- ・学校行事を小学校及び中学校で合同で実施する等、一体感のある教育活動を行う。



●施設分離型

- ・離れた場所にある小中学校で、教育目標、教育課程に一貫性を持たせる。
- ・小中が互いに連携を図りながら教育活動を実施する

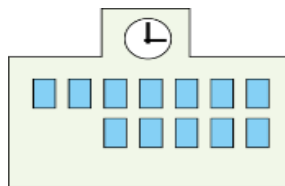


小中一貫教育推進のための施設形態

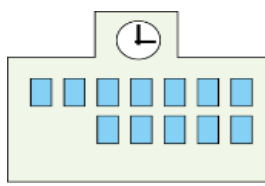
●施設一体型



A 中学校



B 小学校

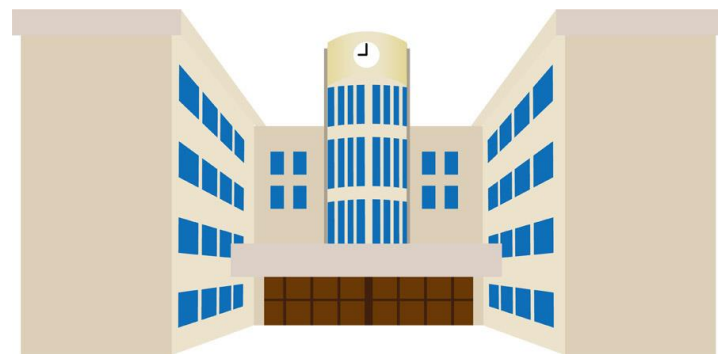


C 小学校



適した校舎

- ・ 全校児童・生徒数が一定数以下



〇〇学園小中学校（一体型）
新築？ 増築・改修？

一体型の良さ

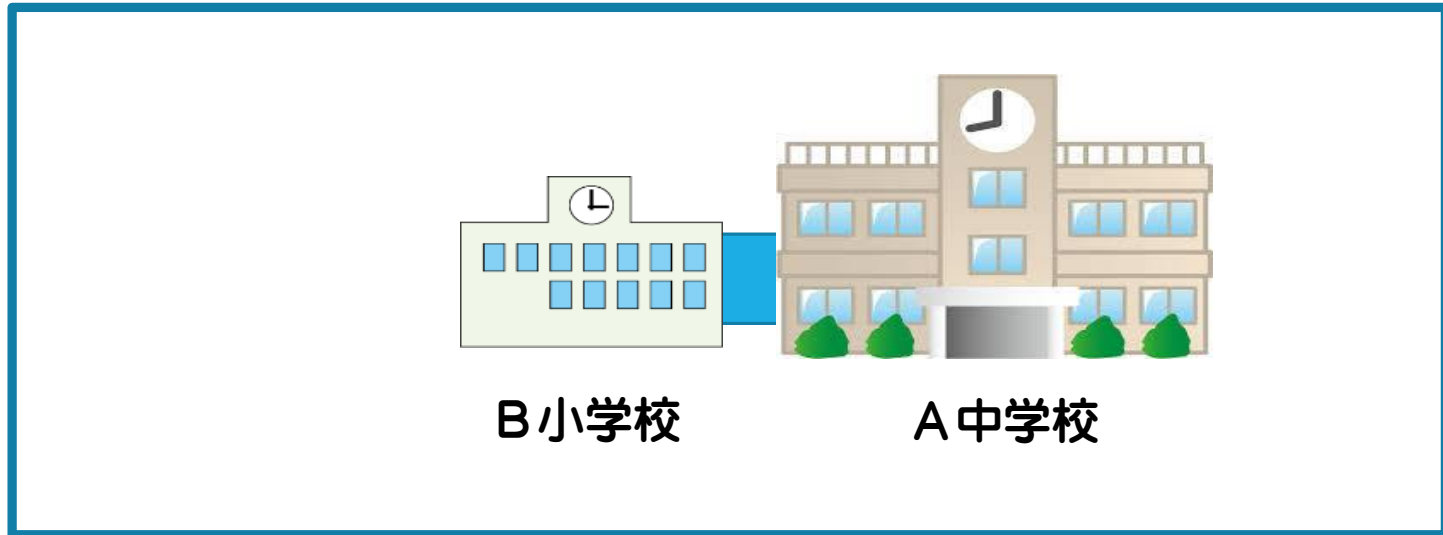
- ・ 児童生徒の交流
- ・ 小中一貫教育を推進しやすい環境
→教職員の専門的な授業
→子ども同士の関わり 等

一体型の課題

- ・ 9年間同じ校舎、
- ・ 1～9年生まで使える校舎設計
- ・ 通学方法
- ・ 教職員、PTA組織 等

小中一貫教育推進のための施設形態

●施設隣接型



- ・ 小学校と中学校の校舎が同一敷地内又は隣接する敷地内に別々に設置されている。
- ・ 成長段階に応じて、小学校高学年から中学校の校舎で学習

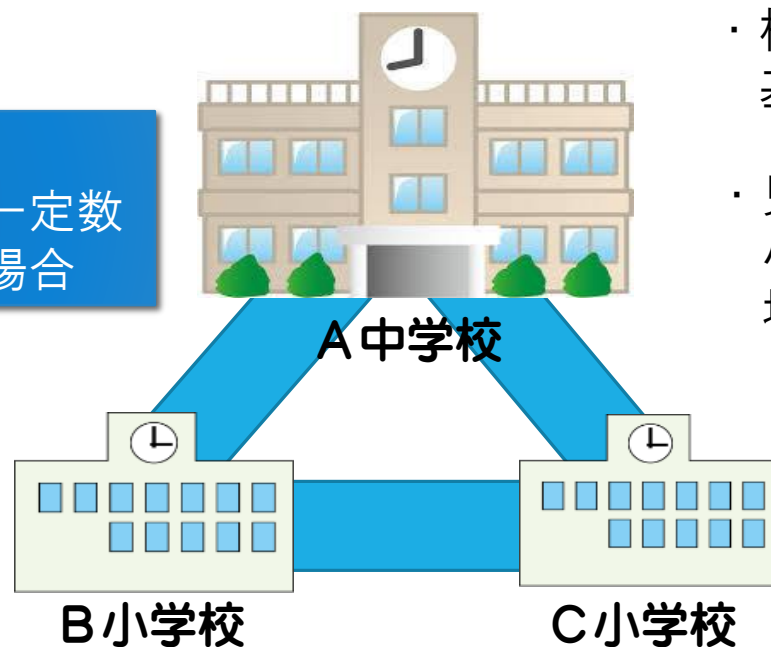
掛川市には現在該当する学園はありません

小中一貫教育推進のための施設形態

●施設分離型

適した校舎

- ・ 全校児童・生徒数が一定数を超えて大規模になる場合



- ・ 校舎の配置について、基本は現状と変わらない
- ・ 児童生徒数減少に伴い、小、中学校の統廃合の場合もあり得る

分離型の良さ

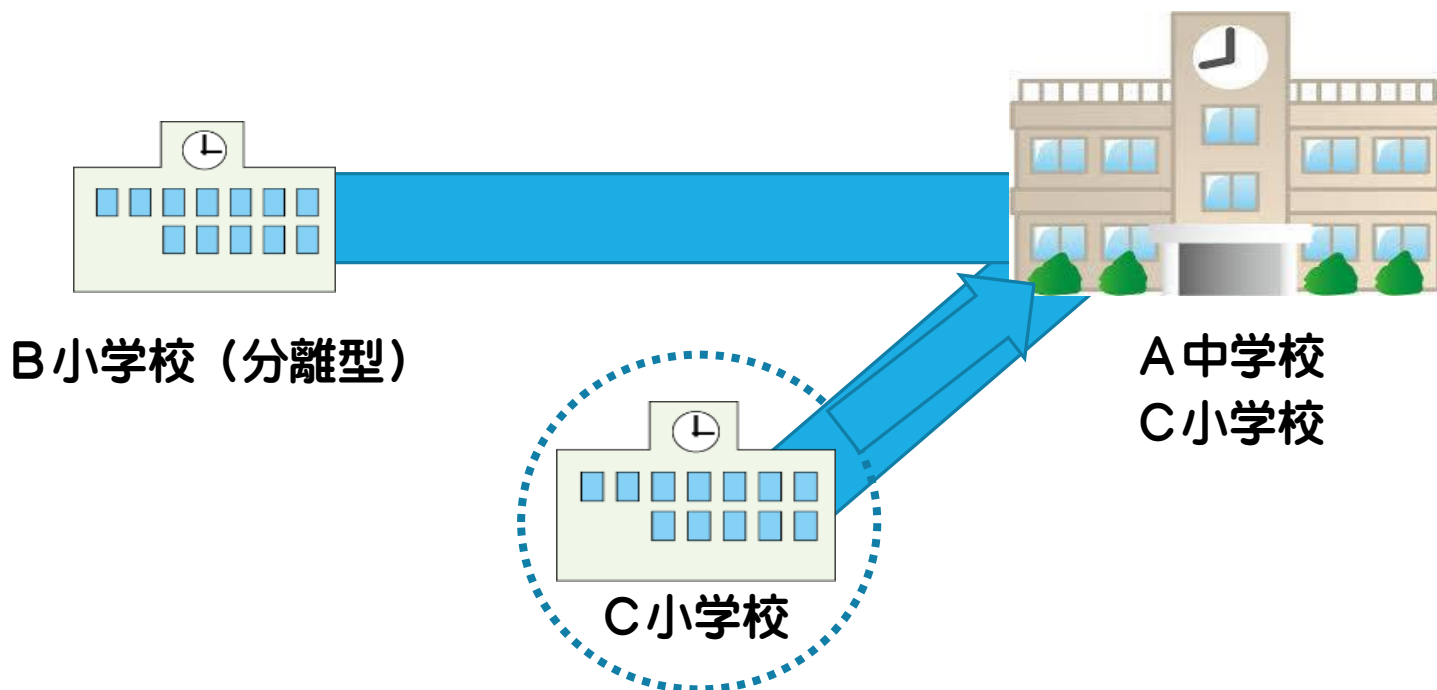
- ・ これまでの校舎を基本的に活用
- ・ 今の地域に密着
- ・ 小学生の通学 等

分離型の課題

- ・ 児童生徒との交流時間の確保
- ・ 教職員同士の打合せ時間の確保
- ・ 単学級に伴う課題 等

小中一貫教育推進のための施設形態

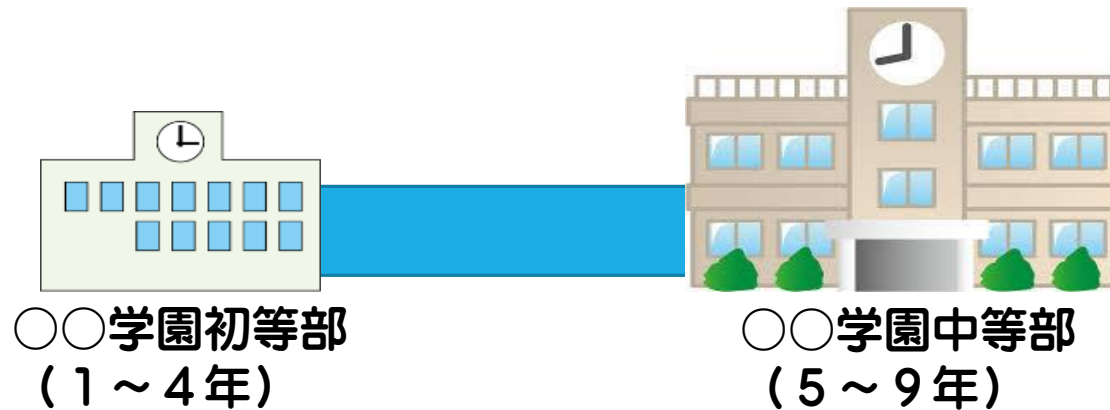
●施設分離型 色々な形態（例）



- ・ 1つの小学校が、中学校と一体型、もう1つの学校が分離型（浜松庄内学園等）

小中一貫教育推進のための施設形態

●施設分離型 色々な形態（例）



・学年の区切りを4－5制、又は4－3－2制等にして、初等部を1校、中等部を1校にした形態（福岡市 能古小・中学校）

他にも色々な形態が考えられます

校舎について

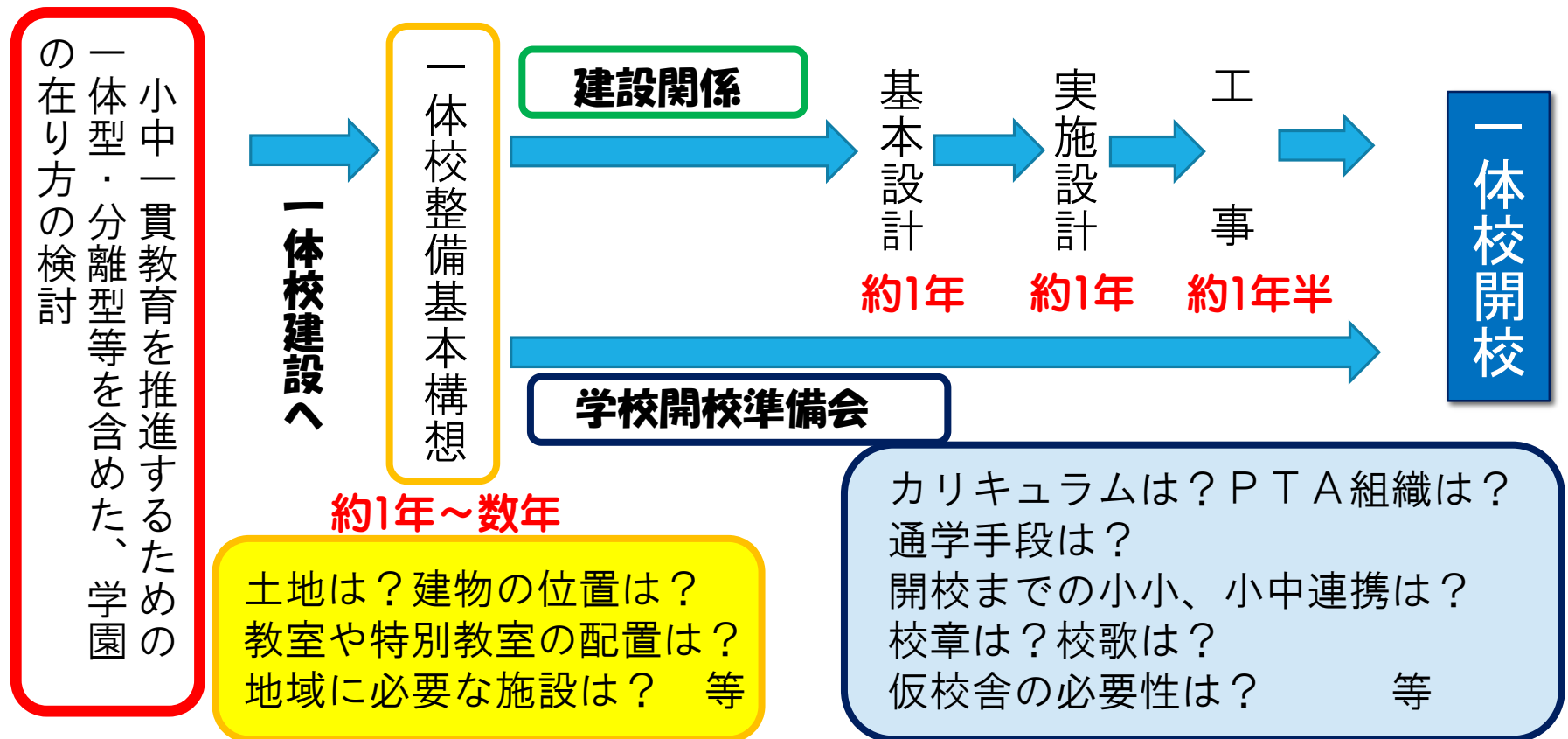
●原野谷学園の校舎の現状

学校名	施設概要						
	施設名	延床面積(m ²)	建築年・月	経過年数(年)	5年後(年)	10年後(年)	備考
原谷小学校	校舎(東棟)	2125	S47.3.1	45	50	55	校舎計2,956m ² 屋内運動場計698m ²
	給食荷受	29	S47.3.1	45	50	55	
	校舎(西棟:特別教室)	802	H5.3.1	24	29	34	
	屋内運動場	698	S57.3.1	35	40	45	
原田小学校	校舎	1681	S56.3.1	36	41	46	校舎計1,708m ² 屋内運動場計699m ²
	校舎(生活科スペース)	27	H10.10.1	18	23	28	
	屋内運動場	699	S57.3.1	35	40	45	
原野谷中学校	校舎(南棟西)	917	S36.3.1	56	61	66	校舎計3,174m ² 屋内運動場計1,308m ²
	校舎(南棟東)	1308	S36.9.1	55	60	65	
	校舎(湯沸棟)	59	S63.3.1	29	34	39	
	校舎(北棟)	861	S63.3.1	29	34	39	
	EV棟	29	H15.9.1	13	18	23	
	屋内運動場	1308	H23.2.1	6	11	16	

もしも…

●一体型の学校を建設するならば・・・

複合化・多機能化を視野に入れた校舎の構想・設計（例）



もしも…

●分離型の学校を維持するならば・・・

小中一貫教育を推進するための
一体型・分離型等を含めた、学園
の在り方の検討

→
**分離型の学校
(現状維持)**

必要に応じて

- ・校舎の補修
- ・長寿命化もしくは建て替え

市内の古い校舎から、校舎の長寿命化もしくは建て替えについて、今後検討していく

課題

- 小中一貫教育の効果への期待
- 学校施設への投資の難しさ
(人口減少に伴う財政上の課題等)
- 児童生徒数の減少に伴う小学校同士や中学校同士の統廃合

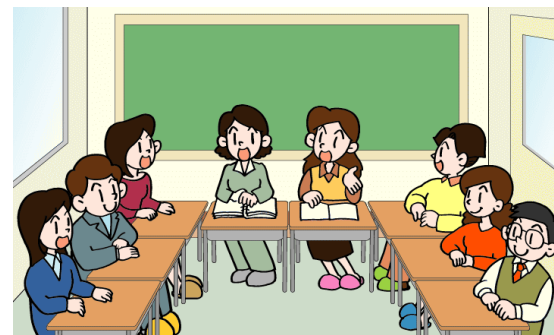
まとめ

- 学園化構想を生かした小中一貫教育の推進
- 施設形態には色々な形がある
 - ➡ 一体型、分離型、（隣接型）
- 原野谷学園の校舎の老朽化
- 校舎の建て替え
 - ➡ 多額の費用がかかる
- 原野谷学園の子どもたちにとってよりよい教育環境を考える必要がある

現状について

平成28年度
中学校区学園化構想第2ステージ検討委員会

平成29年度
かけがわ市小中一貫教育推進基本方針



**平成29年度～
原野谷学園新たな学園づくり地域検討委員会**

未来の子どもたちの教育環境について

保護者の皆様の御意見をお寄せください